



カラン・シン インドの政治家、慈善家、詩人

富士宣言は、地球全体にとって非常に重要な文書であります。内なる悟りを求めると同時に、過去2世紀にわたる人間の欲望と無神経さによって大きなストレスを受けている社会と受け継いだ地球に対する責任について述べています。私の親友であるアーヴィン・ラズロ氏、西園寺昌美氏、その他の献身的な人々と共に、私たちはこの宣言を発表し、世界中に広く行き渡らせることができたことを記憶しています。

このような宣言の課題は、それが表現する偉大な理想に私たちが実際に応えられるかどうかということです。残念ながら、未だそれができたとは言えません。なぜなら、宗教の名の下に行われる争いは、いまだに世界中を罪のない血で染め続けているからです。この宣言は、新しい文明への移行について述べており、そのための必要条件を概説しています。私は、この宣言の7周年記念日が、人類に新たな推進力を与え、たとえこの時期が遅くとも、これまでの常識を覆し、すべての人間が内包する「神聖」を評価するよう促すことを心から願っています。

1893年にシカゴで開催された第1回世界宗教者会議から始まった宗教間交流運動は、スワミ・ヴィヴェーク・カナンダの優れたインスピレーションによるところが大きいと記憶されています。長い空白を経て、ちょうど100年後の1993年に第2回目の会議が再びシカゴで開催されました。その後、世界各地で議会が開催され、今年もシカゴで第9回議会が開催される予定です。このような宗教間集会には多くの代表者が参加しますが、私たちは改宗者に向かって説教をしているような印象を受けることがあり、私たちのメッセージは実際には世界中、特に若い世代に届いていないのではないのでしょうか。富士宣言を若い世代に広く知ってもらうことは、重要なことです。彼らは未来を担う世代だからです。若いリーダーたちのグローバルなネットワークを作ろうという計画が、どこまで進んでいるかは分かりませんが、正式な組織には所属していなくても、世界中の何百万人もの若者が新しいパラダイムを求めています。富士宣言は、彼らが今後直面する課題に対応するための明確なロードマップを与えてくれるに違いありません。

アーヴィン・ラズロ氏、西園寺昌美氏に、心からのお祝いを申し上げます。